

# 岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成28年1月9日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ みやす つどいじっこういんかい  
団体名 御休の集い実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ おおはし みづ  
代表者氏名 実行委員長 大橋 貢

\* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第8回 御休の集い(地域の歴史を学び新しい文化を育むまつり)
事業実施区域(小学校区)	御休小学校区
① 事業実施内容	
実施日	平成27年10月3日(土) 午後12時00分～午後4時
場所	御休地区内「宮池」周辺
(1) 地域の歴史を学ぶ	いわれのある西祖禅寺(現廃寺)の梵鐘を小学生が打ちならす。 梵鐘のいわれや地区内の史跡について話を聞く。
(2) 三世代の文化交流	<ul style="list-style-type: none"><li>御休小学校の児童による和太鼓の披露。終演は「beZen 鼓空」との共演。</li><li>地元の間世代におけるステージング。新しい文化の創作。</li><li>高齢者を中心にした誰でも参加できる歌声披露。</li><li>津軽三味線の演奏</li></ul>
(3) 身近な日本文化に触れる	<ul style="list-style-type: none"><li>中秋の名月をモチーフに、茶席をもって日本の代表的文化に親しみをもってもらう。</li><li>当日は約300人分のお茶をふるまう。</li></ul>
(4) 地産地消	<ul style="list-style-type: none"><li>地元でとれた秋の産物を加え豚汁をつくり来場者へふるまう。</li></ul>
(5) 子供の遊び場コーナー	<ul style="list-style-type: none"><li>日本古来の輪投げなどの子供の遊び場を設置。</li></ul>

(6) 史跡パネル展

- 学区内の史跡認識のためにパネル展コーナーを設け、自分たちが暮らすこの御休学区の歴史を来場者へ再認識してもらう。
- 史跡クイズなどの開催。

(7) 史跡冊子の作成

- 地区内にある史跡を一冊の冊子にまとめ、来場者へ配布。

(8) 小学生の史跡研究発表

- 昨年の ESD の一環も兼ねて、地元でも馴染みのある史跡をピックアップして小学校6年生が研究の成果を発表する。

来場者数	500人
天候	晴天

② 事業の成果(目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたかなど)性

- 町内会組織及び各種団体の地域における連携・協調面は例年通りである。
- 中学生のボランティアが今年は多く、全体における一体感の醸成及び次世代への文化の育み。
- 小学生の史跡の研究発表を通しての史跡の再発見と郷土愛の育み。

③ 事業における地域性

- 御休地区は、岡山市の東部に位置し、旧街道沿いに面している。かつては商業、文化の行き交う東玄関口となっていた。備前長船の刀剣の鋳物技術に象徴されるように、かつてこの地区内にも多くの鋳物師たちがいたと考えられる。西祖禅寺の梵鐘についても当時のハイレベルな鋳造技術があったと伺われる。
- 西祖禅寺は岡山市東区西祖の「寺の奥」というところに存在していたと伝えられているが現在では廃寺である。この梵鐘が鋳造されたのは中世であり、そのような梵鐘は全国的にも数多くあり取り立てて珍しいわけではない。ではなぜこの梵鐘に「いわれ」があるのかと言えば、この梵鐘は現在、鳥取県の琴浦町(旧赤崎町)の智積寺に現存している。当時ここ御休にあった梵鐘がなぜ鳥取県までたどり着いたのかは、今となっては謎であり、誰も知る由もない。しかしおもしろいことに650年の時を隔てて、ここ西祖の住民が偶然にも鳥取県において発見することとなったわけである。偶然とタイミングが重なったのは運命的と言えるのかもしれません。この梵鐘は現在鳥取県の重要文化財に認定

されており、日本梵鐘100選に認定されている名鐘と言われています。このような「いわれ」がある梵鐘としてまた、ここ御休の象徴として、この梵鐘のレプリカをかつて作成したわけである。

数年前には、この「御休の集い」に携わる人及び学区内の梵鐘の歴史について関心のある人たちで、鳥取県の智積寺へ本物の梵鐘を見るため視察旅行を行った。一つの梵鐘を介して、鳥取とここ岡山の遠く隔てられた距離間、そして中世からの時間の流れ、そんな歴史の不思議さに想いをはせることとなった。

- ・ このあたりは、竪穴式住居跡地や古墳、吉井堰、倉安川水門等数多くの史跡の宝庫である。
- ・ 御休(みやす)という地名もかつて明治天皇が全国ご巡幸の際にこの地で休憩を取られ田植えの風景を眺められたということから御休という名前の由来がある。御休小学校には、そのご休憩の際に明治天皇が使用された机が今も大切に保管されている。

このような歴史的遺産を地元の子供達、そしてここで生活している人々にもあらためて認識してもらい、我がふるさとに誇りを持ってもらいたいと願っている。

まさに、人、和、歴史、郷土愛、すべてがここに「集う」ものとなる。

#### ④ 企画などの工夫

- ・ いわれのある梵鐘をモチーフに、児童の代表が梵鐘を打ちならして「集い」の幕開けとなる。
- ・ 中秋の名月に行い、日本のもっとも身近で、代表的文化の「お茶」の世界に触れてもらう。お茶のお運びは地元の小学生等で行う。
- ・ 中学生の出演もあり。
- ・ 地元の三世代による、それぞれのステージング。
- ・ 会場は静寂な湖畔をイメージし、地元で親しみのある「宮池」とする。
- ・ 上記したように、日本古来の素材に伴い、例年和太鼓の演舞がステージに力強さを加える。
- ・ 今年も、東日本大震災により岡山へ移住されている津軽三味線演奏家、蝦名宇摩さんの力強い、歌声と音色を届けてもらった。
- ・ 学区内に点在する史跡を再発見してもらうため、史跡パネルコーナーを設けている。昨年度の反省を含めて、史跡コーナーを広げ少しでも多くの方に地元の歴史的な遺産を見てもらえるようにした。
- ・ 今までのパネルコーナーの集大成として、今年も史跡冊子を作成した。学区内の史跡を非常にわかりやすく解説したものとすればこれが初と言って良い。学校などの施設に配り、当日は来場者へも配布した。今後も有効活用をしてもらいたいと願っている。

- ・ 昨年に引き続き、ESD の一環も兼ねて、御休小学校の6年生が中心となり、地元の史跡からピックアップしものを研究しパネルにまとめ当日発表した。
- ・ 地元上道中学校の生徒がボランティアで手伝いに来てくれた。
- ・ PTAが主体となり、昨年と同様、子どもの遊び場コーナーも盛り上がりを見せた。また、当イベントの趣旨に立ち返り、例年通り日本的な遊びである「輪投げ」「くじ」などの内容にしている。また、今年も地元還元として、地域の方から集めた品物のフリーマーケットを行った。
- ・ 包括支援センターに協力をさせていただき、子どもから高齢者を対象としたコーナーを設けた。また併設して車椅子などの相談コーナーも設けた。
- ・ 近隣の特別養護老人ホームの方を毎年招待しているが、観覧スペースを広げイスの数なども昨年よりは多く設置した。

#### ⑤ 事業の情報公開

- ・ 予算立案、決算報告はもちろんのこと、事業実施計画、立案に関しても地元の各種団体から構成される実行委員に諮り決定し公開する。
- ・ 事業PRについては、手作りチラシおよび手作りののぼりを町内会ごとにたててもらおう。また学校を中心として児童から保護者へと促す。

#### ⑥ 今後の課題

- ・ 「継続の先に成果がある」と考えている。いまの全体の協力が継続するように考えたい。そのためにはこれからの若い世代の協力が今一層必要と考える。  
会場のレイアウトの変更。ステージと、店舗などとの調整。

#### ⑦ その他(感想、PR、事業実施上の改善点など)

この「集い」のねらいとして、希薄化した地域社会のつながりを少しでも解消できないものかという観点から、「三世代の交流」を念頭に置いている。今年も、子供から高齢者まで幅広い年齢層の参加をうけ、主催者側と、来場者それぞれが満足のいく時間を過ごすことができた実感している。

多くの中学生ボランティアが参加してくれたことはこれからの地元地域社会への還元として考えるならこの「集い」の趣旨に実に沿ったものであった。また、昨年に引き続き、小学校6年生が、地元の史跡研究をまとめ、発表してくれたことも大いに評価すべきことと考える。

老人施設から来てくれた人たち。嬉しそうに手を打ちながら見ていた笑顔は本当に良いものである。そして、今年も、東日本大震災によりここ岡山に来られた、津軽三味線の演奏家である蝦名親子の力強い音色を聴くことが出来た。観客は真剣に聞き入っている。蝦名親子の声や三味線の音色には、生きたメッセージが本当に込められている。それは確実に観客の心へと届くものだとも今年も感じた。

最後に、細かな反省点はいつの時もいくらかはある。それよりも、これから更にこの「集い」の意義を確立していくには、もっと多くの若者の力が必要であると来年に向けて考えた。

⑧ 事業実施経過

年 月 日	内 容
	別紙参照

③第8回「御休の集い」事業スケジュール

	全体予定	事務局	交通対策部	会場・業部	町内会
1月	31日・岡山市南区づくり補助金提出 → 岡山市				
3月	初旬・打ち合わせ 初旬・補助金にアサイン				
5月	初旬・補助金請求書提出 27日・第1回 実行委員会				
6月	初旬・全体部会 26日・第2回 実行委員会				
7月	22日・第3回 実行委員会 下旬・協賛企業通知	協賛企業通知作成 (事前通知用、当日持ち込み用2文)	・駐車場草刈り及び除草		下旬 協賛企業金 → 初旬 締め切り
8月	初旬・公園許可申請書提出 → 真区役所 ・假し物届け → 保徳所 初旬 締め切り 24日・第4回 実行委員会 ・チラシ完成 下旬・協賛企業宛チラシ送付 ・来賓案内通知	公園許可申請書提出 → 真区役所 ・假し物届け → 保徳所 企業宛通知 (お礼文、案内文、チラシ)	中旬・駐車場草刈り及び除草		
9月	18日・第5回 実行委員会 中旬 締め切り	・非当数確定 → 下旬 発注 ・乗賃数集計 → 手土産準備		下旬・会場害虫駆除 下旬・仮設スロープ設置 下旬・会場周辺草刈り等整備	
10月	2日・前日準備 3日・「御休の集い」当日 中旬・企業、来賓お礼文通知 下旬・決算	・企業、来賓お礼文	誘導看板等設置		
11月					
12月	9日・第6回 実行委員会(反省会) 下旬・実績報告 → 岡山市				

⑨ 事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
御休学区連合町内会	21
御休コミュニティーハウス協議会	10
御休福寿会(老人クラブ)	5
御休宮池公園愛護委員会	15
御休小学校	5
御休学区体育協会	6
御休消防団	10
御休小学校 PTA	20
御休学区愛育委員会	11
御休学区交通安全母の会	6
民生・児童委員	6
交通安全対策協議会	1
中学生ボランティア	8
計	13団体 126人



## 第8回 御休の集い

### ⑪ 収支決算書

◎ 収入

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	277,500	230,900	
町内負担金	55,000	55,000	5,000円×11町内会
お茶席等負担金	98,700	98,700	100円×987戸
協賛金	123,800	77,371	企業等・コミュニティー協議会
その他	0	12	利子
合 計	555,000	461,983	

◎ 支出

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
出演料	70,000	/ 70,000	ステージ関係
消耗品費	169,000	/ 132,100	お茶席・豚汁関係含む
委託料	40,000	/ 20,000	舞台設営ほか
燃料代	10,000	/ 5,200	会場草刈り
使用料	60,000	/ 60,944	レンタルトイレほか
通信運搬費	25,000	/ 19,000	切手等
食糧費	130,000	/ 138,843	会議用飲物、当日弁当代等
印刷製本費	40,000	/ 15,680	印刷・コピー代・チラシ史跡ブース
手数料	1,000	/ 216	
報償費	10,000	0	
合 計	555,000	461,983	

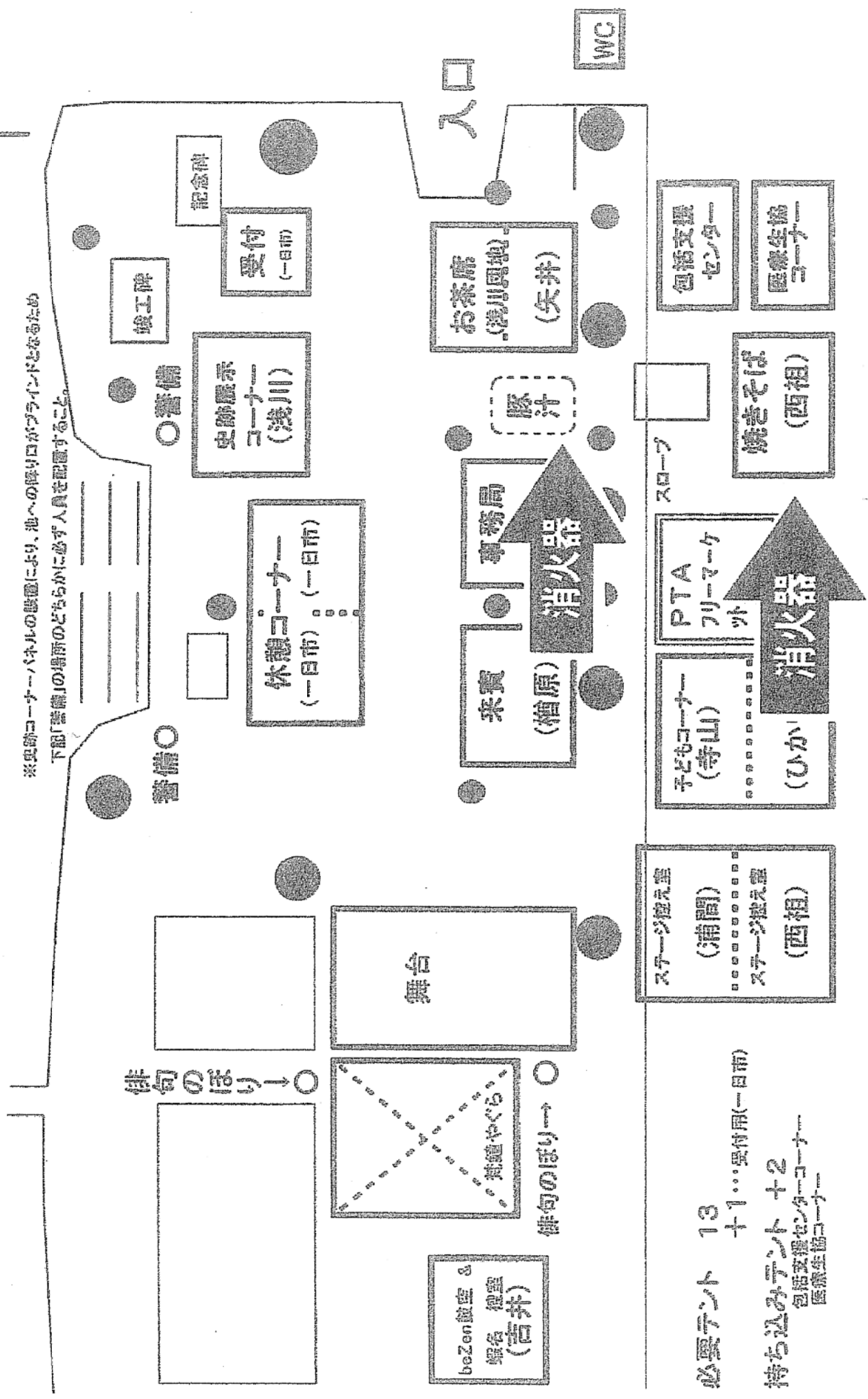
以上のとおり、収支決算の内容を報告します。

平成 27年 11月 29日                      会 計  
 監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成 27年 11月 29日                      監 事

# 第8回御休の集い(地域の歴史を学び新しい文化を育むまつり) 会場配置図

4



※史跡コーナーパネルの設置により、池への降り口がプライントとなるため  
下部「警備」の場所のどちらかに必ず人員を配置すること。

必要テント 13  
+1...受付用(一日市)  
持ち込みテント +2  
包括支援センター  
医療生協コーナー

# 御休の集い

Festival in Miyasu

平成27年10月3日(土)

少雨決行(予備日:10月4日(日))

午後0時00分～午後4時

会場: 御休宮池公園

地域の歴史を学び新しい文化を育むまつり

楽しい催し物がいっぱい!!

アトラクション

御休和太鼓クラブ 上道中学校合唱部  
オカリナブレンス森の小鳥 うたごえ上道 演奏  
津軽三味線演奏会 beZen鼓空和太鼓演奏会

お楽しみコーナー

茶席 豚汁 焼きそばの食文化コーナー  
御休幼稚園・小学校PTA 子どもコーナー・フリーマーケット  
史跡展示コーナー 包括支援センター・医療生協の特別コーナー  
御休小学校児童の歴史学習の発表・展示もあります

# 御休の集い

平成27年10月3日(土) 少雨決行(予備日:10月4日(日))  
 午後0時～午後4時  
 場所 御休宮池公園

## プログラム

( 予定 )

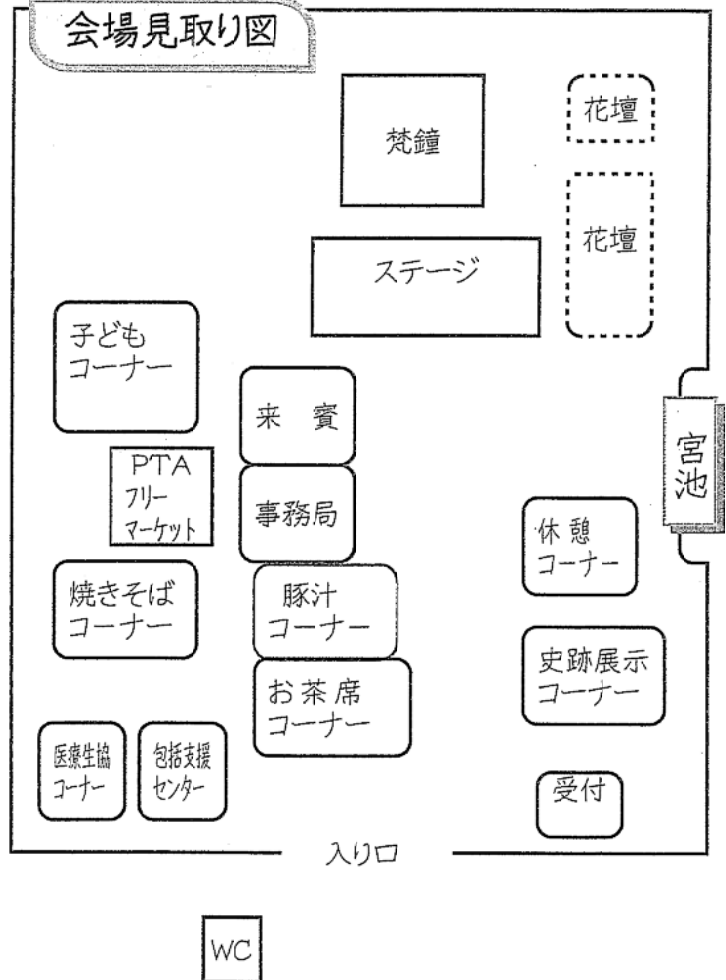
- 12:00～ 開会式
- 12:20～ 梵鐘と史跡の説明・梵鐘打ち
- 12:30～ 御休小学校 史跡の学習発表
- 12:45～ 御休小学校 和太鼓演奏
- 13:15～ 上道中学校 合唱部演奏
- 13:45～ オカリナフレンズ森の小鳥
- 13:15～ うたごえ上道(アコーディオンとともに)
- 14:45～ 津軽三味線演奏
- 15:15～ beZen鼓空 和太鼓演奏
  
- 15:50～ 閉会

## お楽しみコーナー

13:00～

- 豚汁コーナー 焼きそばコーナー
- お茶席コーナー 史跡展示コーナー
- 医療生協コーナー 包括支援センター
- 御休幼稚園・小学校PTA  
フリーマーケット  
子どもコーナー(小学生以下)

## 会場見取り図



## 協賛いただいた企業の皆様

(株)ウイル	岡山県貨物運送(株)東備支店	岡山市農業協同組合 上道支所
株式会社 長田建設	岡山日野自動車(株)	カローラ岡山総合サービス(株)
(株)さくら祭典	対州工業(株)	内海プラント(株)
両備ガーデン	(有)難波商店	(株)日本資源開発社
グループホーム 和楽の家 みやす	(有)田中土木	特別養護老人ホーム ハモニカ
デイケアセンター 満天	(株)阿曾板金	岡山ダイハツ販売(株)平島店

(順不同)

お願い

※駐車場には限りがありますので、徒歩または自転車等でご来場ください。